

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年7月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	コスモ海洋株式会社
所在地	福岡県北九州市門司区栄町11番9号
代表者役職・氏名	代表取締役 金丸 市郎
担当者連絡先	電話：093-332-2460
	メール：soumu@cosmo-ocean.jp
ウェブサイトURL	https://www.cosmo-ocean.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は平成4年に創業した海洋建設業者であり、全国各地の海洋探査・測量・海洋環境調査・潜水作業及び海洋土木工事を実施している。
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	海洋調査、磁気探査、潜水探査、潜水調査等による調査活動から海洋土木、浚渫工事により、海洋汚染の防止、異常物、危険物の除去を含む海洋ゴミの削減活動を行い、海の豊かさを守る。	探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率100%を目指す
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力・潮流・波力発電等の海洋調査を行い、再生可能エネルギーのインフラ整備に貢献する。また、河川・ダム等の測量、調査を行い、豪雨被害等の被害軽減に寄与するインフラ整備に貢献する。	探査・調査件数 現状の200%増を目指す
□環境 ✓社会 ✓経済	北九州道路サポーター登録企業として、道路の清掃・美化活動を行う。また、港湾地区で清掃活動を実施する。	道路・港湾地区の清掃活動数 道路：週1回 港湾地域：年4回

(様式第2号)

企業・団体名(コスモ海洋株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人 権 ・ 労 働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・次世代支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備に努めている。また、その行動計画・取り組みを「両立支援の広場」にて公開している。																
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・令和2年10月1日付で就業規則を改定し、セクハラやパワハラに関する条文をより詳しいものにするともに、これらに対する相談窓口を設置した。 ・職場環境等に関する提案制度を設け、相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。																
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・令和2年4月「在宅勤務規定」を制定し、テレワーク等、多様な勤務体制を構築している。 ・毎週水曜日に「ノー残業デー」を設け、残業する場合は申請が必要な状況にしている。																
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している																	
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全担当責任者を置き、朝礼や会議の場で常に作業安全に関する注意喚起を行い、安全・衛生に関するポスターを掲示している。 ・夏季は熱中症対策として飲料水を会社に常備し、屋外作業の際は携行させている。																
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・令和4年6月産業医と契約。ストレスチェックの実施に向け準備中である。																
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・高齢者対策については、以前より退職年齢を65歳とし、該当年齢に達しても本人の希望により継続雇用している。（社員総数34名中8名が65歳以上）																
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・業務に必要な資格取得奨励制度を制定。講習や試験に必要な経費は全額支給するとともに、取得資格に応じて報奨金を授与している。																
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している																	
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・2022年3月健康経営優良法人2022（中小規模法人）の認定を受ける。また、これと同時に「第9回北九州市健康づくり活動表彰で「優秀賞」を受賞。																

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・北九州市が定めた産業廃棄物処理要領に基づき、マニフェストを作成し適正に処理している。 ・紙や段ボールは適正に収集しリサイクルしている。											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ISO14001に基づき、毎月の公共料金使用状況をチェック。前年と比較して削減に努めている。							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・現在社用車を11台所有しており、毎月運航報告書の提出を義務付け、走行距離の管理と燃料の節約を呼び掛けている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	作業時に廃油等が流出しないように配慮している						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・2012年ISO環境マネジメントシステムの認証取得。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・2018年5月「ISO9001品質マネジメントシステム」を取得。質の良い、安全なサービス提供に努めている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	同 上									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ISO14001, 9001を同時に取得することにより、環境への負荷軽減や汚染防止と質の高いサービスの提供に相乗的に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・12年間会社周辺の道路清掃を継続し、令和3年度、北九州市長より「北九州市自治会活動応援事業者」の表彰を受けました。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・当社専務取締役を統括責任者とし、SDGsの担当者を設置している。また、SDGsの社内勉強会を実施し、目標の推進体制を構築している。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・北九州市入札参加資格有資格者名簿へ登録済																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・総務部を統括部署とし、問題があれば定期的に関催する役員幹部会議において、協議し対応している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・何か問題があれば速やかに状況を所属長に報告し解決を図る体制を整えている。 ・役員幹部会議を毎月数回開催し、問題を共有している。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・北九州港湾建設協会主催の海岸クリーンアップ運動へ毎回参加する他、作業現場のゴミ拾い等、環境美化に努めている。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・事業承継に関する講演会やセミナーに参加し、準備態勢を整えている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

令和 5 年 11 月 7 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	福岡県北九州市門司区栄町 11 番 9 号
名称：	コスモ海洋株式会社
代表者：	代表取締役 金丸 市郎
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋調査、磁気探査、潜水探査、潜水調査等による調査活動から海洋土木、浚渫工事により、海洋汚染の防止、異常物、危険物の除去を含む海洋ゴミの削減活動を行い、海の豊かさを守る。	探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率 100%を目指す	現状に於ける探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率は90%ほど、人力で回収できない大型の異常物などはウインチを使用するなどし、100%回収を目指す。
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力・潮流・波力発電等の海洋調査を行い、再生可能エネルギーのインフラ整備に貢献する。また、河川・ダム の測量、調査を行い、豪雨被害等の被害軽減に寄与するインフラ整備に貢献する。	探査・調査件数 現状の200%増を目指す	官公庁等の探査・調査の発注件数が減少しているため、増数は少ないが確実に件数は増えている。
□環境 ✓社会 ✓経済	北九州道路サポーター登録企業として、道路の清掃・美化活動を行う。また、港湾地区で清掃活動を実施する。	道路・港湾地区の清掃活動数 道路：週1回 港湾地域：年4回	道路の清掃は週1回を厳守している 港湾地域の清掃も可能な限り参加をしている

令和 6 年 10 月 31 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	北九州市門司区栄町 11 番 9 号
名称：	コスモ海洋株式会社
代表者：	代表取締役 金丸 哲士
登録年月日：	令和 5 年 3 月 29 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋調査、磁気探査、潜水探査、潜水調査等による調査活動から海洋土木、浚渫工事により、海洋汚染の防止、異常物、危険物の除去を含む海洋ゴミの削減活動を行い、海の豊かさを守る。	探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率 100%を目指す	現状に於ける探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率は90%ほど、人力で回収できない大型の異常物などはウインチを使用するなどし、100%回収を目指す。
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力・潮流・波力発電等の海洋調査を行い、再生可能エネルギーのインフラ整備に貢献する。また、河川・ダム の 測 量、調 査 を 行 い、豪雨被害等の被害軽減に寄与するインフラ整備に貢献する。	探査・調査件数 現状の200%増を目指す	官公庁等の探査・調査の発注件数が減少しているため、増数は少ないが確実に件数は増えている。
□環境 ✓社会 ✓経済	北九州道路サポーター登録企業として、道路の清掃・美化活動を行う。また、港湾地区で清掃活動を実施する。	道路・港湾地区の清掃活動数 道路：週1回 港湾地域：年4回	道路の清掃は週1回を厳守している 港湾地域の清掃も可能な限り参加をしている

令和 7 年 9 月 16 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	北九州市門司区栄町 11 番 9 号
名称：	コスモ海洋株式会社
代表者：	代表取締役 金丸 哲士
登録年月日：	令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋調査、磁気探査、潜水探査、潜水調査等による調査活動から海洋土木、浚渫工事により、海洋汚染の防止、異常物、危険物の除去を含む海洋ゴミの削減活動を行い、海の豊かさを守る。	探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率 100% を目指す。	現状に於ける探査、調査地域における海洋中の異常物・危険物の回収率は 90% ほど、人力で回収できない大型の異常物などは工事業者等が回収できるように場所の情報を提供し 100% 回収を目指す。
✓環境 ✓社会 ✓経済	洋上風力・潮流・波力発電等の海洋調査を行い、再生可能エネルギーのインフラ整備に貢献する。また、河川・ダム の測量、調査を行い、豪雨被害等の被害軽減に寄与するインフラ整備に貢献する。	探査・調査件数 現状（2022 年度）の 200% 増を目指す。	再生可能エネルギーおよび災害軽減・復興に寄与するインフラ整備に貢献する案件の受注件数は増えている。 2022 年度：13 件 2024 年度：18 件 （2022 年度比：138.5%）
□環境 ✓社会 □経済	北九州道路サポーター登録企業として、道路の清掃・美化活動を行う。また、港湾地区で清掃活動を実施する。	道路・港湾地区の清掃活動数 道路：週 1 回 港湾地域：年 4 回	道路の清掃は週 1 回を厳守している 定期的な港湾地域の清掃 4 回に加え地域イベントの後など行政と共に清掃活動をしている